

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

平成24年度病虫害発生予察速報第2号について

このことについて、病虫害発生予察速報第2号（ナシ赤星病）を発表したので送付します。
ナシ赤星病菌の飛散のピークは前年並の4月3半旬頃と予想されるので、適期防除の指導
をお願いします。

速報第2号

果樹

- 1 対象作物：ナシ
- 2 病虫害名：赤星病
- 3 発生地域：県下全域
- 4 ナシへの感染最盛期：4月中旬（前年並）
- 5 速報の根拠
 - (1) 県下6地点のナシ園周辺ビャクシンにおける、4月9～10日のナシ赤星病菌冬孢子堆調査の結果、成熟度の平均は45.3（前年31.7）で、前年よりやや早い（第1表）。
 - (2) 4月1日起算の冬孢子堆発芽最多期予想の回帰式（福岡県立園芸試験場、昭和45年）によると、小生子の飛散ピークは4月12日頃（前年4月18日頃）と予想され、前年より6日程度早い（第2表）。
 - (3) 「幸水」「豊水」の発芽期は前年より2～3日程度、平年より5～6日程度遅い。また、「豊水」の開花始めは、前年より2日程度遅く、平年より3日程度遅い（第3表）。
 - (4) 福岡管区气象台4月6日発表の1か月予報では、平均気温、降水量ともに平年並と予想されている。
- 6 防除上の注意等
 - (1) 今後の週間天気予報で降雨日を把握し、適期防除に努める。
 - (2) 防除に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。

第1表 ビヤクシンにおけるナシ赤星病菌越冬胞子堆の成熟状況（水浸法）

調査地点	調査日	胞子堆数	平成24年					膨潤率(%)	成熟度	平成23年		
			膨潤程度別胞子堆数							調査日	膨潤率(%)	成熟度
			A	B	C	D	E					
朝倉市	3/23	52	0	0	0	12	40	23.1	5.8	3/23	23.5	5.9
	4/03	98	0	15	35	40	8	91.8	39.5	4/06	67.7	17.4
	4/10	134	0	3	55	54	22	83.6	32.3	-	-	-
嘉麻市	3/23	24	0	0	3	5	16	33.3	11.5	3/24	30.0	7.5
	4/03	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	4/07	100.0	35.7
	4/09	30	0	2	13	11	4	86.7	35.8	-	-	-
うきは市	3/22	85	0	0	0	1	84	1.2	0.3	3/25	2.6	0.7
	4/03	79	0	17	33	19	10	87.3	43.0	4/07	72.1	23.8
	4/10	118	0	4	51	50	13	89.0	34.7	-	-	-
筑後市	3/16	73	0	0	0	19	54	26.0	6.5	3/16	42.1	11.0
	3/22	133	1	2	1	34	95	28.6	8.6	-	-	-
	3/27	135	0	0	4	102	29	78.5	20.4	3/25	84.1	25.0
	4/04	127	0	14	82	26	5	96.1	45.7	4/04	94.7	38.5
	4/09	164	17	35	104	8	0	100.0	59.3	-	-	-
八女市	3/16	69	0	0	0	7	62	10.1	2.5	3/16	-	-
	3/22	125	0	4	4	80	37	70.4	20.0	-	-	-
	3/27	159	0	0	17	119	23	85.5	24.1	3/25	89.1	28.0
	4/04	131	5	25	81	20	0	100.0	52.9	4/04	94.4	38.9
	4/09	175	17	44	108	6	0	100.0	60.3	-	-	-
広川町	3/16	72	0	0	0	20	52	27.8	6.9	3/16	51.9	13.7
	3/22	146	0	1	16	80	49	66.4	19.7	-	-	-
	3/27	131	0	0	1	97	33	74.8	18.9	3/25	82.5	26.3
	4/04	123	0	9	72	37	5	95.9	42.3	4/04	92.2	36.1
	4/09	140	3	22	90	18	7	95.0	49.3	-	-	-
筑紫野市 (参考)	4/05	141	4	16	17	55	49	65.2	27.1	-	-	-
	4/10	180	3	27	84	53	13	92.8	43.6	-	-	-
平均	3月中旬						21.3	5.3	-	47.0	12.3	
	3月下旬						37.2	11.0	-	52.0	15.6	
	4月上旬						92.4	45.3	-	86.9	31.7	

注1) 膨潤率=(A+B+C+D)/胞子堆数×100

注2) 成熟度={(4A+3B+2C+D)/(4×胞子堆数)}×100



<冬胞子堆膨潤程度>

- A: 冬胞子堆が外観的に完全に膨張する。
- B: 一部未膨潤冬胞子堆を残す
- C: 約50%未膨潤冬胞子堆を残す
- D: 一部膨らむ
- E: すべて無膨潤である

写真 ビヤクシン上における赤星病冬胞子堆

第2表 冬胞子堆発芽最多期予想の回帰式計算結果

計算式	平均気温
$Y = 59.726 - 4.952X$ $= 11.2$	平成24年
Y: 4月1日起算の最多期までの日数	3月3半旬: 5.9℃
X: 3月3半旬~6半旬の平均気温	3月4半旬: 11.4℃
	3月5半旬: 9.6℃
	3月6半旬: 12.1℃
	*3月3半旬~6半旬の平均: 9.8℃

注1) 平均気温は太宰府アメダスの値を使用

第3表 農業総合試験場（筑紫野市）におけるナシ生育状況

4月10日現在

品種	年度	発芽期	本年との比較	開花期					
				開花 始め	本年と の比較	開花 盛期	本年と の比較	開花 終期	本年と の比較
幸水	本年	3/30	-	-	-	-	-	-	-
	前年	3/28	+2日	4/9	-	4/12	-	4/19	-
	平年	3/25	+5日	4/9	-	4/12	-	4/18	-
豊水	本年	3/30	-	4/9	-	-	-	-	-
	前年	3/27	+3日	4/7	+2日	4/10	-	4/17	-
	平年	3/24	+6日	4/6	+3日	4/9	-	4/15	-

1) 平年：平成3年～平成22年の平均

2) 本年との比較は、平年比、前年比を早い場合は-○日、遅い場合は+○日で示す。

3) 開花始め：全体の20～30%の花が開花した日

開花盛期：全体の80%の花が開花した日

開花終期：全体の20～30%の花が散った日